



## NEWS RELEASE

報道資料

2008年9月24日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 自社敷地内に米国最大級のソーラー発電施設を導入

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq: AMAT、本社: 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) とサンパワーコーポレーション (SunPower Corporation、本社: 米国カリフォルニア州サンホゼ) は9月19日 (現地時間)、SunPower ソーラー発電施設2基 (総出力2.1メガワット) をカリフォルニア州サニーバールにあるアプライド マテリアルズの敷地内で稼働開始したことを発表しました。これは、米国内の企業が自社内に設置するソーラー発電施設としては最大級のものであります。

アプライド マテリアルズ社長兼 CEO のマイケル・スプリンターは次のように述べています。「これはカリフォルニア州におけるソーラー発電の画期的な導入例の一つといえます。設置しやすく、クリーンで騒音のないソーラー発電に多くの企業が注目し、会社や地域への導入を検討し始めています。アプライド マテリアルズでは駐車場にソーラー発電所の機能を持たせました。太陽光をエネルギー源として利用するこうした取り組みに、他の企業もぜひ参加してほしいと思います」

このシステムは、出力950キロワットの SunPower PowerGuard® 設備と、駐車場のカノピー (天蓋) に取り付けられた出力1.2メガワットの SunPower® Tracker からなります。SunPower Tracker は太陽の動きを追って自動的に傾斜を変える仕組みを持ち、従来の固定傾斜パネルに比べて太陽光の捕捉効率が最大25%高まります。両システムには現在市場で最も効率の高いソーラーパネル SunPower が用いられています。SunPower の製造プロセスには、アプライド マテリアルズが販売するバッチーニ製品の技術が採用されています。

アプライド マテリアルズは、2007年11月に初めてソーラー発電施設を設置して以来、これまでに合計1,413メガワット時のソーラー電力を生産しています。新しいシステムがもたらすCO<sub>2</sub>の排出削減は年間2,700トンを超えると見られ、これは自動車約450台分の年間CO<sub>2</sub>排出量に相当します。

SunPower の CEO、トム・ワーナーは次のように語っています。「アプライド マテリアルズのスタンスは米エネルギー省や米空軍と同様で、不安定な電力の比率を抑え、また従来エネルギーへの非依存を推進する手段として、クリーンで再生可能なソーラー発電を重視しています」

アプライド マテリアルズの投資は、再生可能なエネルギー・システムの全国展開を奨励する投資税額控除（ITC）の対象となっています。2008 年末には ITC が期限切れとなるため、米議会は現在 ITC 延長の立法措置を検討中です。

「ITC の長期延長について、超党派的な合意を目指す米上院リーダー諸氏の取り組みに大いに期待しています。コンサルティング会社 Navigant Consulting の最近の調査では、ITC を 8 年延長すれば太陽エネルギー分野に 120 万人以上の雇用と 2,320 億ドルの投資が生まれると予測しています」とワーナーは述べています。

#### SunPower について

SunPower Corporation (Nasdaq: SPWR) は、高性能ソーラー発電装置を設計・製造し、世界中の住宅、商業施設、発電所に供給しています。SunPower の高効率の太陽電池パネルは、通常のソーラー技術に比べて出力が最大 50% 高く、オールブラックの斬新なデザインを採用しています。SunPower はカリフォルニア州サンノゼに本社を置き、北米、ヨーロッパ、オーストラリア、アジアに事業所を構えています。

詳細については <http://www.sunpowercorp.com> をご参照ください。SunPower 株式の過半数は親会社の Cypress Semiconductor Corp. (NYSE: CY) が所有しています。

#### 将来見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995 年民事証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995)、1933 年証券法 (Securities Act of 1933) 第 27 条 A、1934 年証券取引所法 (Securities Exchange Act of 1934) 第 21 条 E の趣旨に沿った「将来見通しに関する記述」が含まれています。こうした将来見通しの記述は、過去の事実を表すものではありません。将来見通しの記述には、「期待される」「するであろう」ないしこれに類した言葉や文章を用いています。本プレスリリースの将来見通しに関する記述には、(a) 新しいシステムがもたらす CO2 の排出削減は年間 2,700 トンを超え、自動車約 450 台分の年間 CO2 排出量に相当する、(b) ITC を 8 年延長することで太陽エネルギー分野に 120 万人以上の雇用と 2,320 億ドルの投資が生まれる、といった両当事者の計画や期待その他が含まれます。将来見通しの記述は本プレスリリース発表時点に入手可能な情報と、経営陣の期待、予測、仮定に基づいているほか、いくつかのリスクや不確定要素が関与するため、実際の結果はこうした記述から予測される帰結と大きく異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素には、両当事者の管理が及ばないさまざまな要因が含まれます。予測と異なる結果をもたらすリスクや不確定要素としては、(i) 実際の発電量、(ii) 実際のエネルギー消費量、(iii) 電力料金の予期せぬ変動、(iv) ソーラー発電業界を取り巻く事業および経済環境ならびに成長トレンド、(v) 実際の CO2 排出量の変動、(vi) ソーラー発電の利用を推

進する政府インセンティブと関連する経済的インセンティブの継続、(vii)サードパーティによる資金提供体制の継続、(viii)SunPower が証券取引委員会 (SEC) に提出する書類 (Form 10-Q に基づく 2008 年 4~6 月期の四半期報告書その他) に記載されているリスクなどがあります。この将来見通しの記述は、リリース発表日以降の両当事者の見解を代弁するものではありません。両当事者は、新たな情報や将来動向のいかんによらず、この将来見通しの記述を更新ないし変更する義務や責任は一切負っておりません。

SunPower は SunPower Corp. の登録商標です。Cypress は Cypress Semiconductor Corp. の登録商標です。その他の商標は各所有者に帰属します。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ : <http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 9 月 19 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 13 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社  
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー  
社長室 : 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831)  
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---